

大分市教育センター長期派遣研修 研修報告会 別紙資料

大分市教育センター研修生 大分市立滝尾小学校 宇佐野章子

- 1 検証授業指導計画（全8時間）
- 2 検証授業指導案・板書（全8時間）
 - 2-1 学習指導案（第1時）
 - 2-1-2 第1時板書
 - 2-2 学習指導案（第2時）
 - 2-2-2 第2時板書
 - 2-3 学習指導案（第3時）
 - 2-3-2 第3時板書
 - 2-4 学習指導案（第4時）
 - 2-4-2 第4時板書
 - 2-5 学習指導案（第5時）
 - 2-5-2 第5時板書
 - 2-6 学習指導案（第6時）
 - 2-6-2 第6時板書
 - 2-7 学習指導案（第7時）
 - 2-7-2 第7時板書
 - 2-8 学習指導案（第8時）
- 3 検証授業 ワークシート
 - 3-1 ワークシート①
 - 3-2 ワークシート②
 - 3-3 ワークシート③
 - 3-4 ワークシート④（下書き）
 - 3-5 ワークシート⑤
 - 3-6 ワークシート⑥（清書）
 - 3-7 ペア交流（相互評価用）チェックシート
 - 3-8 まとめ読み合わせ用チェックシート
- 4 検証授業 交流のルール表
 - 4-1 考えを確かめ合おう！交流のルール
 - 4-2 交流のしかた

資料1 指導計画 (全8時間)

	学習活動	指導上の留意点
1 三 つ の き ま り	<p>○「人に考えを分かりやすく書いて伝える」にはどんなことに気をつけたらいいか、これからの学習計画を立てる。</p> <p>○教材文を読み、意見文(説明文)の書き方を知り、三角ロジックを使って、文章の中には考え(主張)とその理由(事例と理由)があることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えは主張にあたる部分 ・事例は、考えの元となる証拠のようなもの。事実。 ・理由は、なぜその事例が考えにつながるのかを詳しく説明したもの。理由付け。 	<p>○「人に考えを分かりやすく書いて伝える」にはどんなことに気をつけたらいいか、これからの学習の見直しを持たせる。</p> <p>○教材文を読み比べ、人に考えがわかりやすいとはどういう文章なのかを考えさせる。考え・事例・理由があると、どの人にも具体的でわかりやすいことを理解させる。それぞれを色別にして提示し、<u>三点のそれぞれの特徴と役割を理解させる</u>。【三角ロジックの活用】</p> <p>○どの部分が理由や事例にあたるのかを、ペアで話し合い確かめ合わせる。</p>
2 つ な が り	<p>○人にわかりやすく伝えるには、考え・事例・理由の三点があるとよいことを押さえる。</p> <p>○理由のつけ方は、事例が考えにつながるようにつけ、1つの事例に理由をつけるとつながりがそれぞれにきちんとつながることを理解する。</p> <p>○同じ事例でも、理由付けが変わると、考え(主張)がかわってしまうことを理解する。</p>	<p>○三角ロジックの三つの要素を押さえ、それぞれが適切につながっていること(筋道=論理)が大切であることを考えさせる。【三角ロジックの活用】</p> <p>○事例から考えへのつながりを説明するとき、理由付けが変わると、主張が変わってしまうことを押さえる。</p> <p>○どんな理由付けがいいかをペアで話し合い確かめ合わせる。</p>
3 つ な が り	<p>○テーマに対する自分の考え(主張)を決める。</p> <p>○色付カードを三角ロジックに当てはめて考え、自分の考え(主張)のもとになる事例とを考える。</p> <p>○色別カードに書いた三点が、一つの事例できちんとつながっているかどうかをチェックする。</p>	<p>○自分の考え(主張)を決めさせる。</p> <p>○三点を当てはめた色別カードに考え・理由・事例を書かせ、図で整理させる。【三角ロジックの活用】</p> <p>○色別カードに書いた三点が、適切につながっているかどうかをチェックシートに自己評価させる。</p>
4 下 書 き	<p>○新たなテーマで、意見文を下書きする。</p> <p>○三つの要素を、色付カードワークシートに順番を考えながら並べる。</p>	<p>○新たなテーマで、意見文を書かせる。</p> <p>○三つのきまりを、色付カードワークシートに下書きさせる。</p>
5 交 流 確 か め	<p>○話し手は書き手の立場で考えを説明し、聞き手は読み手の立場で説明を聞いて、三つのきまりの視点で交流する。立場を入れかえて相互評価する。評価は作文チェックカードに書きこみ、相手に伝える。</p> <p>○交流で下書きの文章が、読み手に伝わっているかを確かめ、アドバイスする。</p>	<p>○話し手は書き手の立場で考えを説明させ、聞き手は読み手の立場で説明を聞かせ、交流させる。【交流】</p> <p>○下書きの文章が、読み手に伝わっているかを、①三つの要素があるか②一つの事例できちんとつながっているか、の二つの視点で確かめ合わせる。【三角ロジックの活用】【交流】</p>
6 交 流 見 直 し	<p>○考えが分かりやすい子どもの文章を提示し、どこがいいのか、何がいいのかを全体交流して考える。</p> <p>○どのようにアドバイスするかを考えさせ、文章を見直す視点を考える。</p>	<p>○考えが伝わりやすい子どもの文章から事例や理由に着目させ、どのように書けばいいのかを全体交流して考えさせる。</p> <p>○教師が作った、つながりがわかりにくい文章を見直すには、どこをどのようにするのかアドバイスを考えさせ、文章を見直す視点を持たせる。</p>
7 清 書	<p>○自分の下書きともらったチェックカードを見ながら、赤鉛筆で、書き込みをする。</p> <p>○修正を入れた下書きを元に清書する。</p>	<p>○自分の下書きともらったチェックカードを見ながら、赤鉛筆で書き込みをする。</p> <p>○修正を入れた下書きを元に清書する。</p>

8 ま と め	○できあがった文章を読みあう。 ○相手の文章のいいところを伝え合う。 ○学習のまとめをする。	○できあがった意見文を読み合わせる。 ○相手の文章のいいところを伝え合わせる。 ○学習のまとめをする。
------------------	--	---

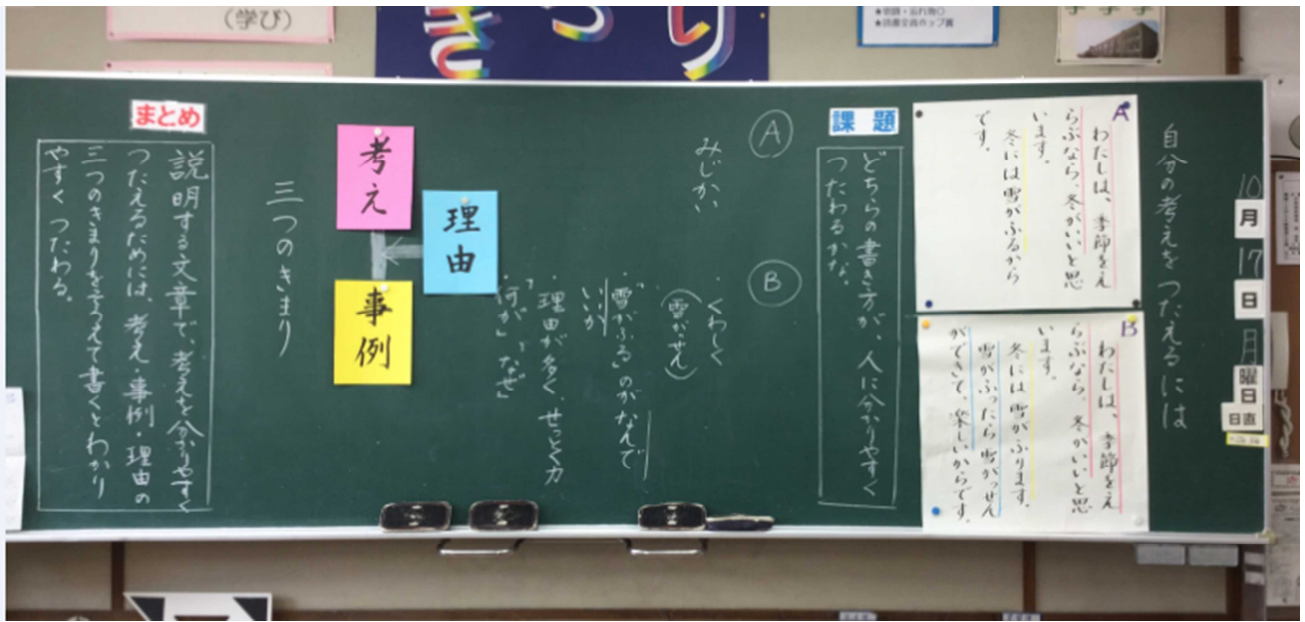
資料2-1 学習指導案 (第1時)

第4学年 国語科学習指導案 (第1時) 【三角ロジック・三つの要素】

- 1、題目 自分の主張がよくわかるように考えて書こう 「自分の考えをつたえるには」
 2、目標 考えを伝える文章の書き方について二つの教材文を比べて読むことで、考えがよくわかる文章の中には、考え(主張)と元になる事例と間考えにつながる理由があることを理解することができる。
 3、本時案 (1/8)

分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
10	<ul style="list-style-type: none"> ○リーフレットを見せ、リーフレットの作成をすることを伝える。 ○「人に考えを分かりやすく書いて伝える」にはどんなことに気をつけたらいいか、これからの学習計画を立てる。 ○この単元では、読む人(クラスの友達)に自分の考えを分かりやすく文章で伝えることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リーフレットを用意し、リーフレット作成への意欲喚起をする。 ○「人に考えを分かりやすく書いて伝えるためのこれからの学習について、見通しを持たせる。 ○目的意識を持たせるために、相手に、考えを分かりやすく文章で伝えることを理解させる。 	
15	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「人に考えが分かりやすく伝わる文章」とは、どのような文章か、理解しよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ○文章の構造をつかむために、教材文を読む。 ・文例は二つあり、読み比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の構造をつかませるため教材文を読ませる。 	
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> どちらの書き方が、考えを分かりやすく伝えることができるかな </div> <ul style="list-style-type: none"> ○二つの文章を読み、どちらがよいか、なぜよいのかを、ワークシートに書く。 ○どんなことがわかったか発表する。 ・Bの方がよい。くわしく書いている。 ・Bの方が理由がわかりやすい。 ・Bには例があるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文を読み比べ、どちらがよく考えが伝わるか、それはどうしてなのかワークシートに書かせる。 ○どちらがよかったか、どんな意見があったか発表させる。 	教材文から主張・事例・理由の三点を見つけ、色分けすることができる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文の中から、筆者の主張、理由、事例の三点を探す。 ・赤鉛筆で考え(主張)に、事例は黄色で、青鉛筆で理由にサイドラインを引く。 ○サイドラインを引いたら、ペアになり、互いに確かめ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文の中から、筆者の主張、理由、事例の三点を探す。 ・赤鉛筆で考え(主張)に、事例には黄色で、理由には青鉛筆で、サイドラインを引く。 ○個人でサイドラインを引いたら、ペアになり、確かめ合わせる。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ○どのように分けたか、発表する。黒板に提示してある教材文を、主張、事例、理由に教師と色分けする。 ○みんなの見つけたことから、分かりやすく伝えるには、「考え」「事例」「つなげる理由」をあげて書くことと良いことを理解する。 ・事例や理由がない文章は説明が不十分でわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どのように分けたか、発表する。黒板に提示してある教材文を、主張、理由、関係する事例に教師と色分けする。 ○意見を整理し、理由と関係する事例があることを説明する。 ・言葉の図にした三角ロジックを提示。 	
5	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px;"> 説明する文章で考えを分かりやすく伝えるためには、考え・事例・理由の三つのきまりをそろえ、それらを適切につなげて書くと、分かりやすく伝わる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○今回の意見文を書く学習であることを確認し、次時につなぐ。 ・ふり返りカードを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次時にはこの理由や関係する事例を挙げることで、つながりが適切かを考えることを確認し、次時につなぐ。 	

資料 2-1-2 第1時板書



資料 3-1 ワークシート①

自分の考えをたどるには① 四()組()番()

次の文章は、「季節をえらぶなら冬の方がいい」としてマで文章を書いたものです。読者の入って読みしよ。誰か一人、書いた人の考えをたどるには、どちらの文章でしようか、子ねはごつてしよ。

Aの文章

わたしは、季節をえらぶなら、冬がいいと思います。

冬には雪がふるからです。

Bの文章

わたしは、季節をえらぶなら、冬には雪がふります。

雪がふったら雪がっせんか、でまて、楽しいからです。

かたい

自分の考え

①

自分の考え

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

まとめ

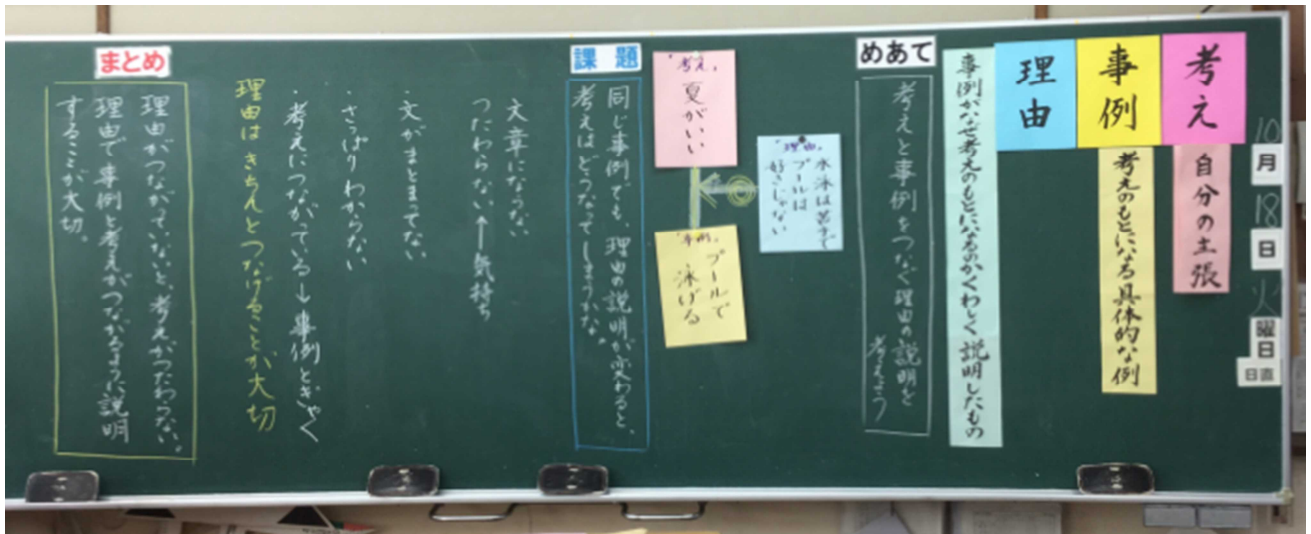
資料2-2 学習指導案 (第2時)

第4学年 国語科学習指導案 (第2時) 【つながりを考える理由】

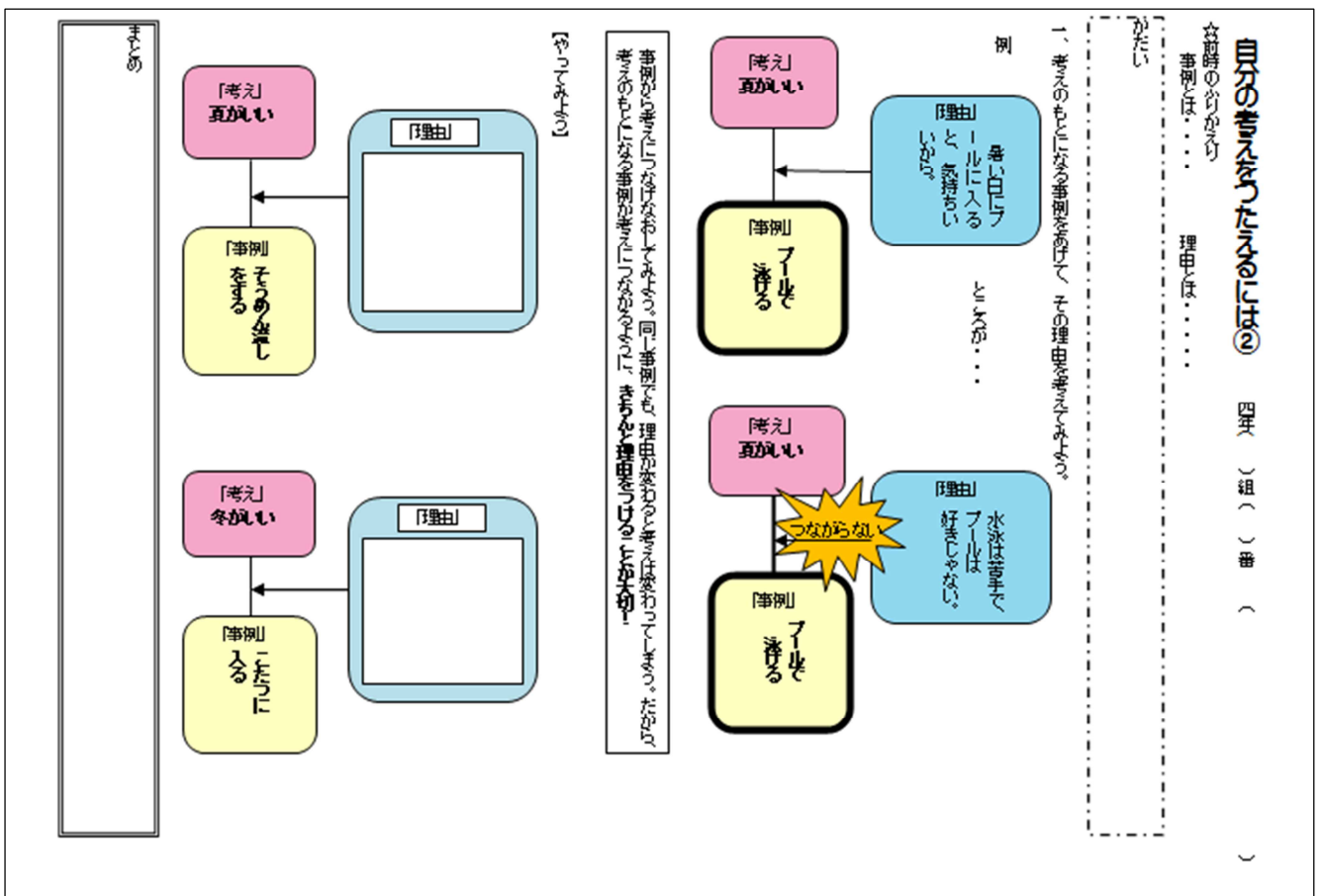
- 1、題目 自分の考えがよくわかるように、考えて書こう
「自分の考えをつたえるには」
- 2、目標 確認した考え・事例・理由の三つのきまりを、理由と具体的な事例をつなげて考えることで、理由と事例の関係 (つながり) を理解することができる。
- 3、本時案 (2/7)

分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点	
5	○前時の振り返りから、考え・事例・理由の三つの要素を確認する。	○前時の振り返りをし、考え・理由・事例の三つの要素を確認させる。		
	考えと事例をつなぐ理由のつけ方を考えよう。			
5	○事例は事実であるから、断定表現できるものであることを理解する。 ○同じ事例から、2つの理由付けを考えてみる。	○事例は事実と同意であることを確認する。 ○同じ事例から、2つの理由付けを考えさせる。		
10	同じ事例でも、理由が変わると、考えはどうなってしまうかな。			
10	○「理由」とは何かを考えるため、同じ事例をあげ、理由付けを変えるとどうなるかを考える。 ・理由には、どう感じるかななどの意見が入るために、理由が変わると考えが変わってしまうことを、ワークシートでたしかめる。 ○考えと事例がつながるように、説明する理由づけは、つながりを考えて説明する必要があることを理解する。 ○事例を変えて、理由付けをする。	○事例をあげ、同じ事例でも、理由付けが変わるとどうなるかを考えさせる。 ・理由付けが変わると、考えが変わってしまうことを押さえる。 ○考えと事例がつながるように、理由付けする必要があることを理解させる。 ○事例を変えて、理由付けさせる。 ○理由付けした内容がつながりが適切かどうか、ペアで確認させる。		
10	○自分の書いた理由づけをペアで確認する。			
5	理由がつながっていないと、つたえたい考えが伝わらない。理由で、事例からつたえたい考えにつながるように説明することが大切。			
10	○考え・事例・理由の三つのきまりを元に、次回はカードを使って書いてみることを伝え、次時につなぐ。 ・ふり返りカードを書く。	○考え・事例・理由の三つのきまりを元に、次回はカードを使って書くことを伝え、次時につなぐ。 ・ふり返りカードを書かせる。		
				○理由のつけ方が変われば、主張も変わってしまうことが理解できる。 ○考えと事例がつながる理由が書けている。

資料 2-2-2 第2時板書



資料 3-2 ワークシート②

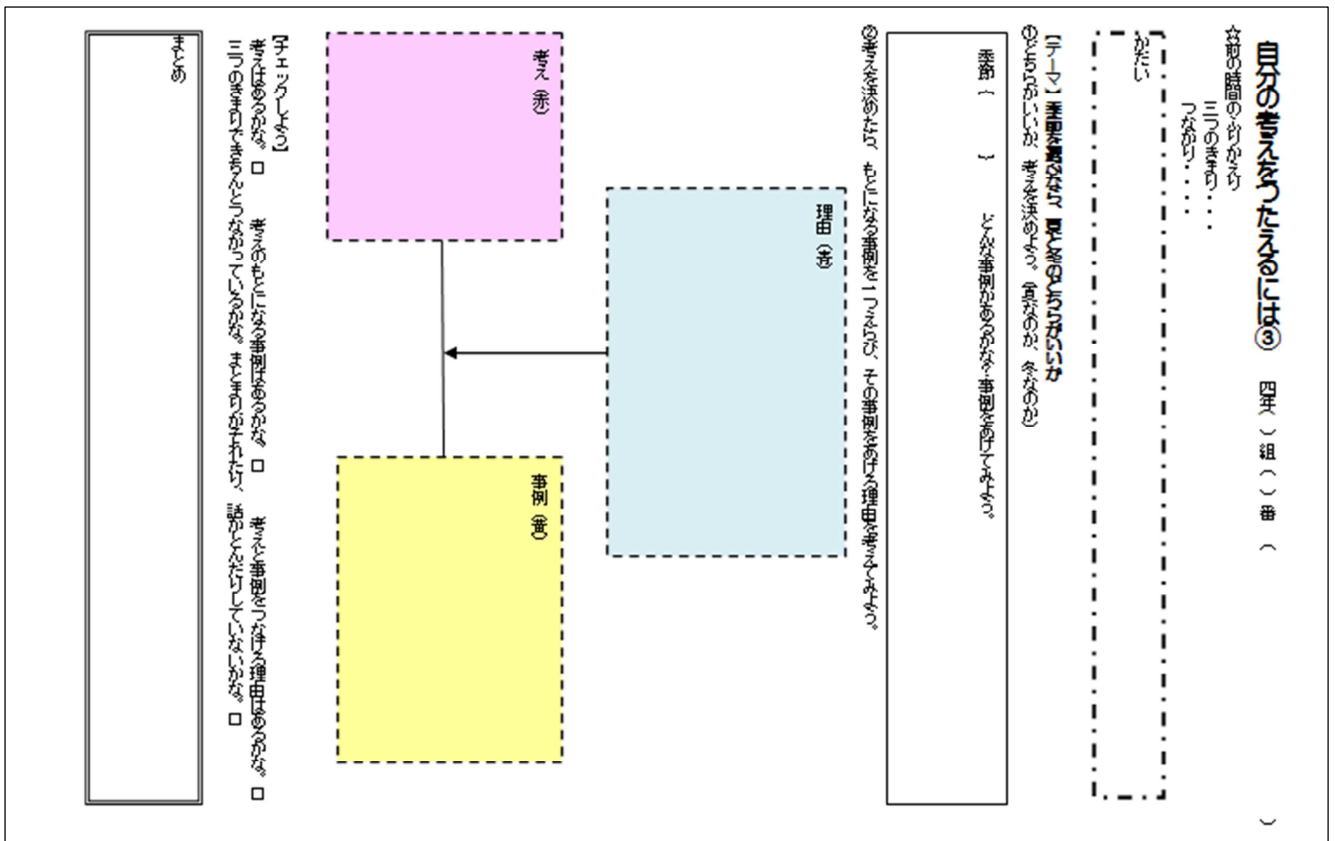
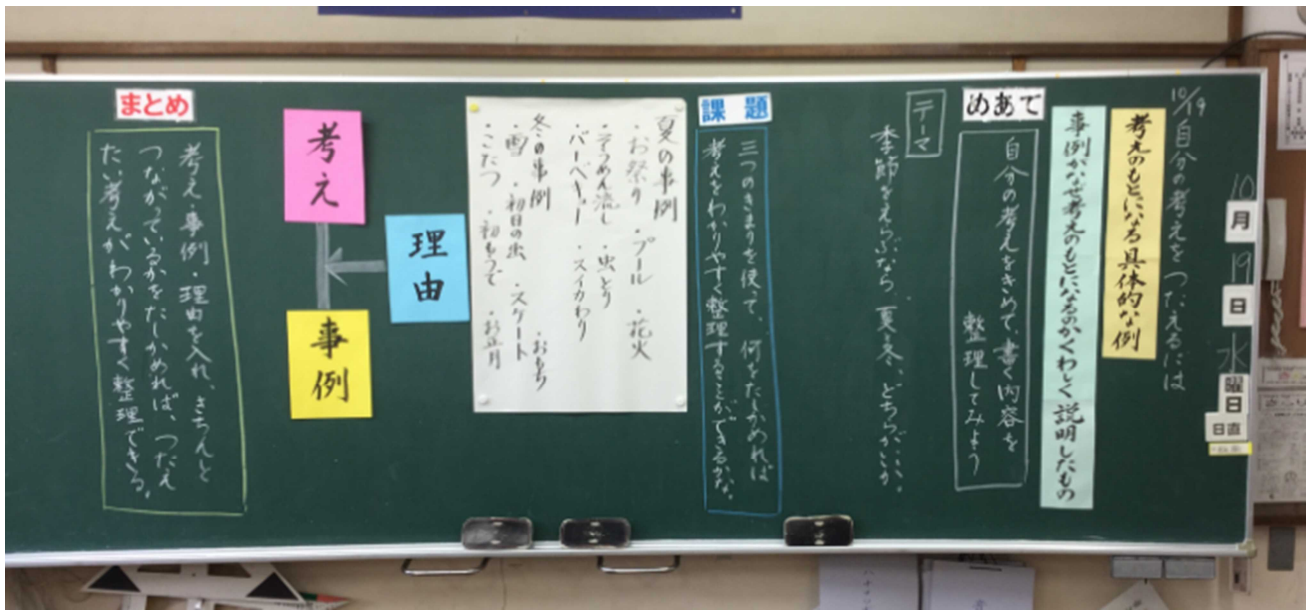


資料2-3 指導案 (第3時)

第4学年 国語科学習指導案 (第3時) 【三角ロジック・色別カード整理】

- 1、題目 自分の考えがよくわかるように、考えて書こう
「自分の考えをつたえるには」
- 2、目標 考えをつたえる三つのきまりを理解し、テーマに対する自分の考え・事例・理由を考え、色別にしたカードで表すことができる。
- 3、本時案 (3/8)

分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
10	<p>○前時のふり返りをし、自分の考えが人によくわかるように書くためには、考え・事例・理由の3つがあることを確認する。</p> <p>○意見文のテーマを決める。(二者択一)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が好きだと思うほうを選ぶ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 自分の考えを決めて、書く内容を整理してみよう </div> <p>○前時に使った三つのきまりを活用し、色分けしたカードに、自分の考え・事例・理由を整理して考えることをつかむ。</p>	<p>○前時のふり返りをし、考えを伝える三つのきまりを確認させる。</p> <p>○意見文を書くために、自分の主張を決めさせる。</p>	
	三つのきまりを使って、何をたしかめれば、考えをわかりやすく整理できるかな。		
20	<p>○考えのもとになる事例を見つける。</p> <p>○三角ロジックの三つの条件(自分の考え・事例・理由)にあわせた色別のカードに、三つのそれぞれの内容を書きこみ、整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにあわせ、それぞれが関係し合っているか、内容が適切かどうかを自分で吟味する。 ・理由を考えるときに、どうしてか、どのようかなど、詳しく説明する。 	<p>○考えのもとになる事例を見つけ出させる。</p> <p>○三角ロジックを活用させ、考え・事例・理由を考えさせ、整理させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三点の内容は適切か、それぞれが関係し合ってきたりつながっているかどうかを吟味させる。 	○三色のカードを使って、考え・事例・理由が適切かどうかを確かめることができる。
5	<p>○書き上げたら、自己チェックしてたしかめる。</p> <p>○色カードに、考え・理由・事例の三点セットが書き込んでいるかどうか、友達と確かめ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの要素が書けているか、事例と考えが適切につながる理由付けができているかを確かめる。 	<p>○チェックシートをつかって、考え・理由づけ・具体例の三つのきまりが書き込んでいるかどうか、適切につながっているかを友達と確かめ合わせる。</p>	
10	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> 考え・事例・理由を入れ、三つがきちんとつながっているかをたしかめれば、つたえたい考えがわかりやすく整理できる。 </div> <p>○人に分かりやすく説明するための三点セットを元に、次回はつながりを考えて下書きすることを伝え、次時につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードを書く。 	<p>○三点セットを元に、次回は下書きをすることを知らせ、次時につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードを書かせる。 	○友だちとカードの内容を確かめ合える。



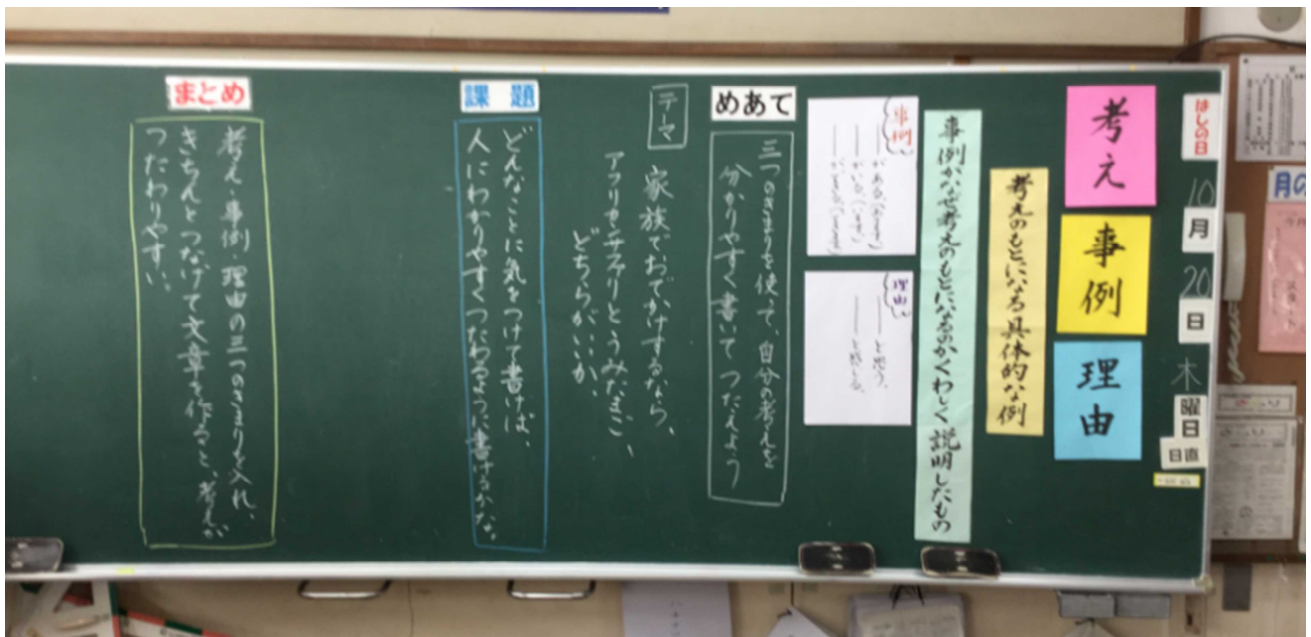
資料2-4 指導案 (第4時)

第4学年 国語科学習指導案 (第4時) 【下書き】

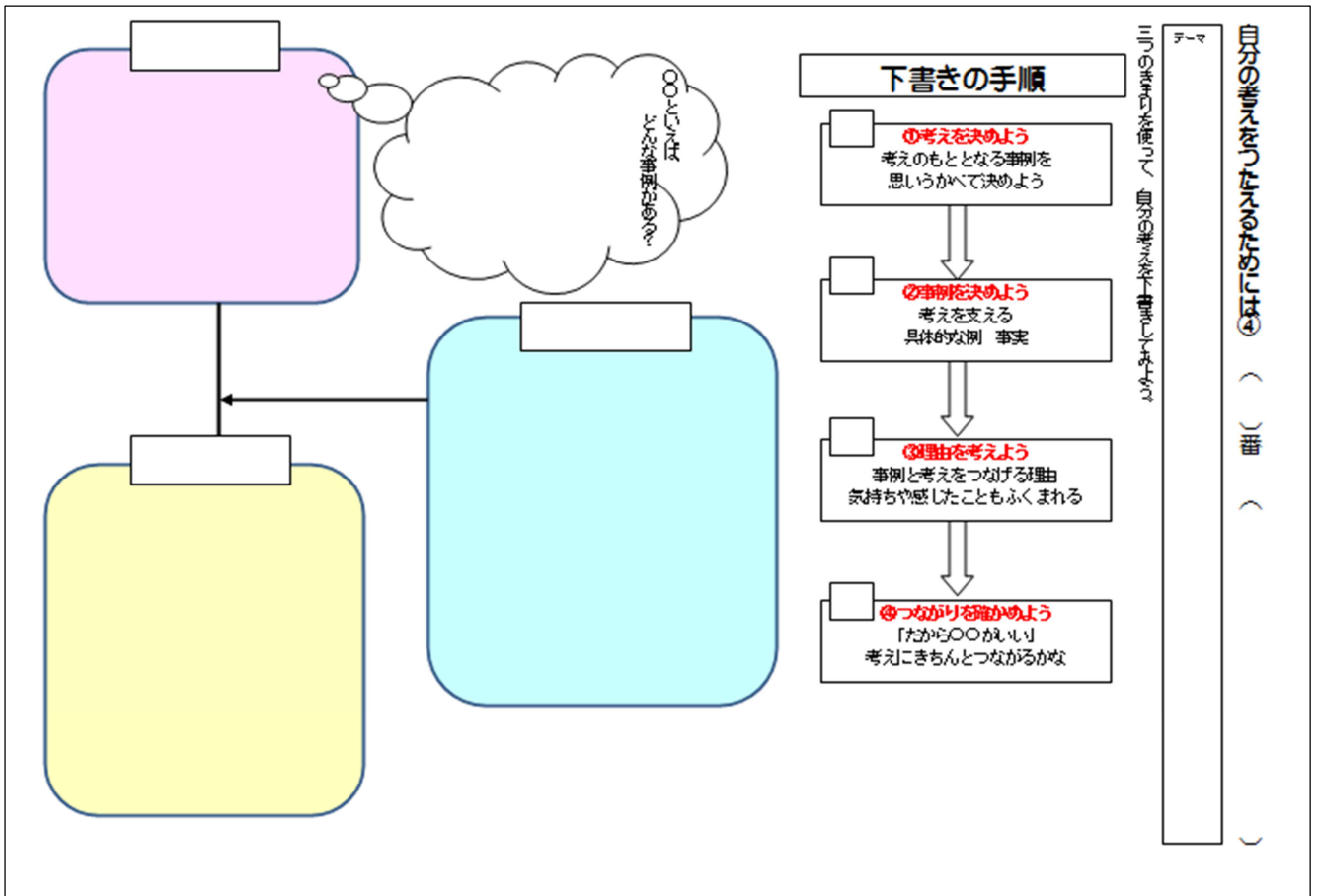
- 1、題目 自分の考えがよくわかるように、考えて書こう
「自分の考えをつたえるには」
- 2、目標 人に考えを分かりやすく書いて伝える文章を、三つのきまりを使って、考え・事例・理由とそのつながりを考えながら下書きに書くことができる。
- 3、本時案 (4/8)

分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
5	<p>○学んだ三つのきまりを生かして、新しいテーマで意見文を書く。</p> <p>○三つのきまりをそれぞれの色別カードにつながりを考えながら書いていくことをつかむ。</p>	<p>○三つのきまりを使って、新しい文章を考えさせる。</p> <p>○三つのきまりを色別カードに書きながら、考え・事例・理由をつなげて下書きを書くことを知らせる。</p>	○整理した三点を元にして、下書きの文章を書くことができる。
<p>三つのきまりを使って、自分の考えを分かりやすく書いてつたえよう</p>			
30	<p>○新しいテーマで、書き出す前に考えることを確認する。</p>	<p>○新しいテーマに対する自分の立場を決めるため、書き出す前に考えることを確認させる。</p>	
<p>どんなことに気をつけて書けば、人に分かりやすく伝わるように書けるかな。</p>			
	<p>○書き出す前に、考えを決める事例を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例が挙げやすいほうが、考えやすい。 <p>○考えを決め、その考えの元になる事例を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入する。 <p>○考えと事例をつなぐ理由を考え、記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由には、なぜその事例をあげたのか、そのじれいからどんなことを思っているのかなど、詳しく説明する。 <p>○理由が書けたら、「だから、〇〇がいい。」と考えにつながっているか確認する。</p>	<p>○考えを決める事例を集めさせる。</p> <p>○考えを決めさせ、集めた事例の中から、元になる事例を決めさせる。</p> <p>○考えと事例をつなぐ理由を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例と考えをつなげる理由をくわしく説明させる。 <p>○理由を書いたら、考えに適切につながっているか確認させる。</p>	
<p>考え・事例・理由の三つのきまりを入れて、適切につなげて文章を作ると、自分の考えが人に分かりやすく伝わる。</p>			
10	<p>○書いた下書きが本当にわかりやすく人に伝わるかどうか確かめるため、次回は交流して確かめ合うことを伝え、次時につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードを書く。 	<p>○書いた下書きが本当に人に分かりやすく伝わるかどうかを確かめるため、次回は交流して確かめ合うことを伝え、次時につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードを書かせる。 	

資料 2-4-2 第4時板書



資料 3-4 ワークシート④下書き

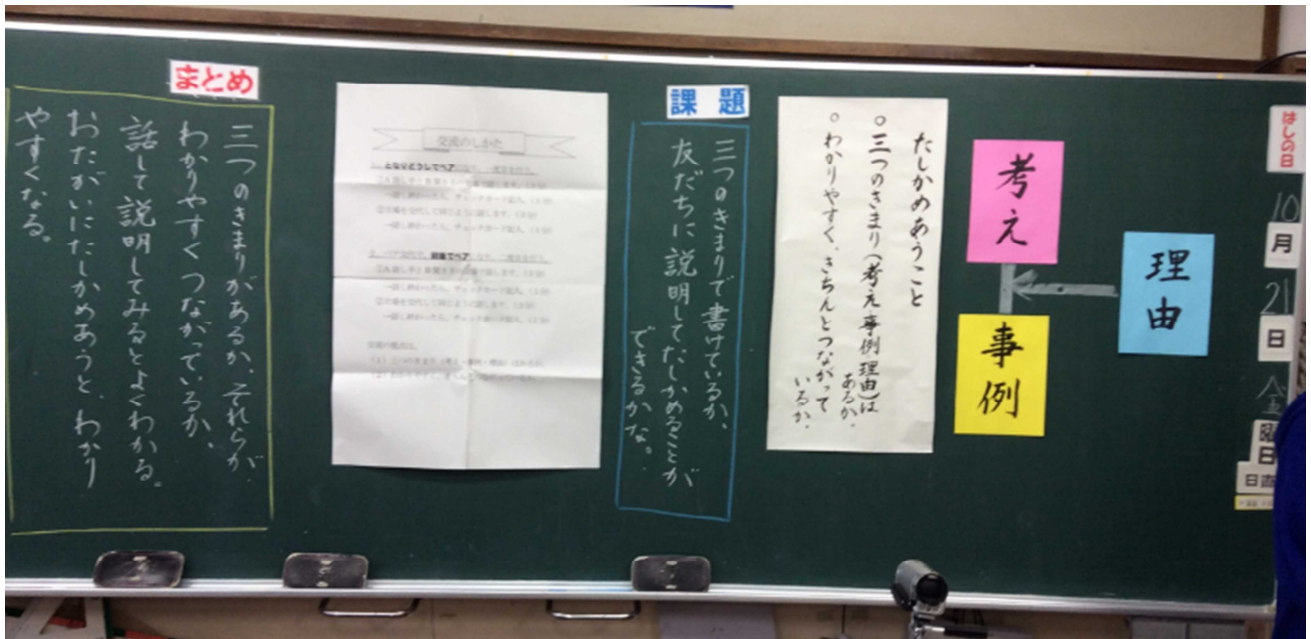


資料2-5 指導案 (第5時)

第4学年 国語科学習指導案 (第5時) 【交流・相互評価】

- 1、題目 自分の考えがよくわかるように、考えて書こう
「自分の考えをつたえるには」
- 2、目標 書いた下書きを、「三つの要素が入っているか」「三つの要素はわかりやすくきちんとつながっているか」の2つの視点で相互評価し、自分の文章の見直しをすることができる。
- 3、本時案 (5/8)

分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
5	書いた下書きを確かめ合おう		
	○前時に書いた下書きを元に、主張・事例・理由がきちんとつながっているか、ペアで確かめ合うことをつかむ。	○前時に書いた下書きを元に、三つの要素があるか、それらがつながっているかどうかを、ペアで交流することを知らせる。	
10	三つのきまりで書けているか、友だちに説明して確かめることができるかな。		
	○交流の視点とやり方を知る。	○交流の視点を説明し、交流の仕方をモデルで示す。 ・授業者と担任とでペアになり、モデルでやってみせる。	
20	○『交流のルール』を参考に、ペアになり、対話形式で交流する。 ・交流の視点は、「考え・事例・理由の三つのきまりがあるか」「わかりやすく、きちんとつながっているか」 ・話し手は自分の考えを発話して説明する。 ・聞き手はじっくりと聞き、聞いた内容を繰り返す。「事例は何ですか。」などと質問する。 ・困っていることには相談しあったり、適切さを確かめ合ったりする。 ○評価はチェックシートに記入する。評価した内容について、メッセージを書き込み相手に渡す。 ・もらったシートは、下書きに貼り付ける。	○対話形式で交流させる。 ・『交流のルール』を提示する。 ○交流の2つの視点を確認し、ペアで交流させる。 ○それぞれの評価は、チェックシートに記入させる。 チェックシートに相手へのメッセージを書かせ、渡させる。 ・もらったシートは下書きに貼らせる。	○友だちとペアで、考えを確かめ合うことができる。 ○友だちの考えの説明を聞き、2つの視点で評価することができる。
10	三つのきまりがあるか、それらが適切につながっているか、話して説明するとよくわかり、お互いに確かめ合うと考えが人に伝わり分かりやすくなる。		
	○交流して確かめ合ったことや、もらったアドバイスを参考に、次回は下書きから清書することを伝え、次時につなぐ。 ・ふり返りカードを書く。	○交流して確かめ合ったことを参考に、次回は清書することを伝え、次時につなぐ。 ・ふり返りカードを書かせる。	



資料 3-5 三つのきまりチェックシート (ペア交流相互評価)

三つのきまり チェックシート 「きんぐ」 「よめ」

主張となる『考え』がわかる

考えのもとになる『事例』がわかる

事例と考えをつなげる『理由』がわかる

考えがきちんとつながり、分かりやすくなった

メッセージ

例：①川田君の考えが、とてもよくわかりました。②川田君の考えが、とてもよくわかりました。③川田君の考えが、とてもよくわかりました。④川田君の考えが、とてもよくわかりました。⑤川田君の考えが、とてもよくわかりました。

よくわかる：◎、わかる：○、わからない：？

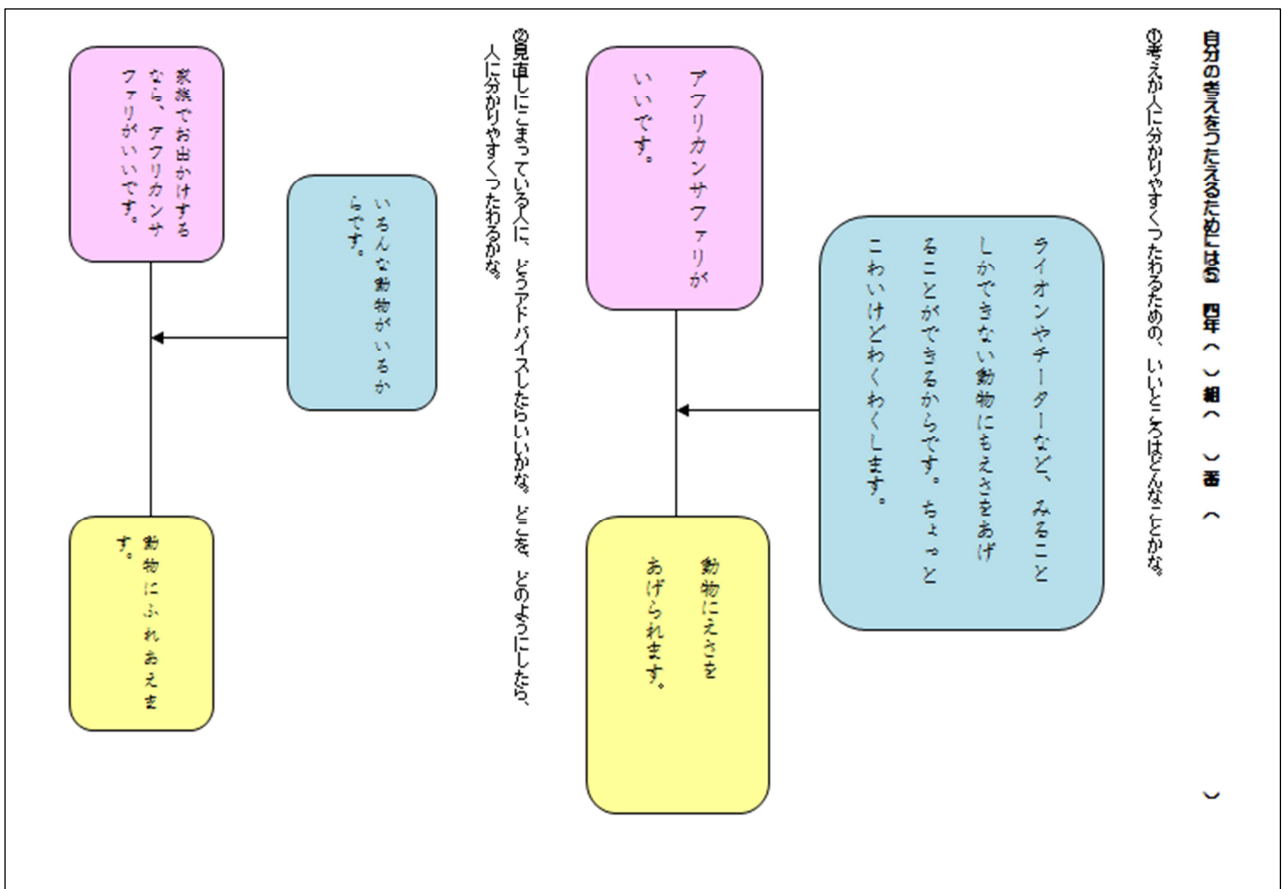
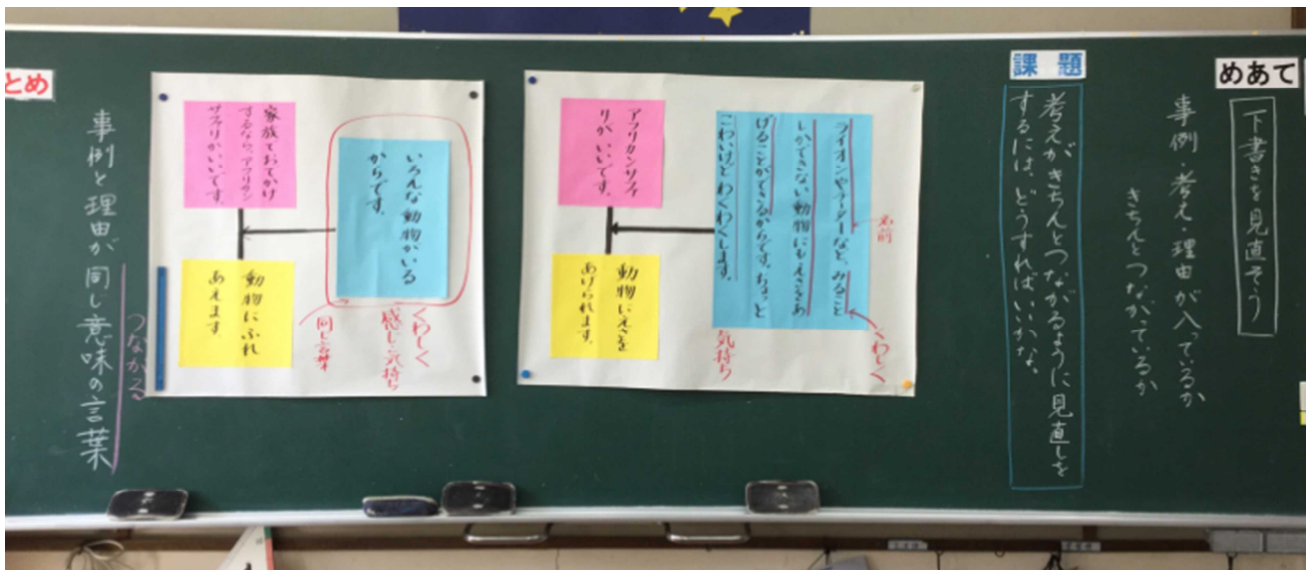
資料2-6 指導案 (第6時)

第4学年 国語科学習指導案 (第6時) 【下書きの見直し】

- 1、題目 自分の考えがよくわかるように、考えて書こう
「自分の考えをつたえるには」
- 2、目標 相互評価した下書きから、自分の理由がつながりを意識して書けているかどうかをたしかめるために、全体交流して、自分の下書きを見直すことができる。

3、本時案 (6/8)

分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
5	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">下書きを見直そう</p> <p>○前時に交流してもらった評価チェックシートも参考にして、自分の下書きを見直し、考え・事例・理由がきちんとつながるように見直しをすることを確かむ。</p>	<p>○交流でもらった評価チェックを参考に、自分の考え・事例・理由をつなげて見直しをすることを知らせる。</p>	
	<p>考えがきちんとつながるように見直しをするには、どうすればいいのかな。</p>		
10	<p>○事例と考えをきちんと理由でつなげている子の例文を提示し、どこがいいのか、何がいいのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例がわかりやすい ・理由が事例のことをくわしく説明している。 ・理由で、事例をどう思っているのか書けている。 ・理由で事例と考えをきちんとわかりやすくつないでいる。 <p>○例文のワークシートに、見つけたいいところに線を引く。何がいいのか、言葉で書く。</p>	<p>○事例と考えをきちんと理由でつなげている子の文章を提示し、よいところを見つけさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例がわかりやすい。 ・理由が事例のことをくわしく説明している。 ・理由でつながっている <p>○ワークシートに、いいところを見つけさせ、線を引かせる。言葉でも書かせる。</p> <p>○教師作成の悪文を提示し、見直す部分を考えさせる。</p>	<p>○例文から、事例と理由のちがいを、理由でつなぐ(つながり)ということに気づくことができる。</p>
10	<p>○教師が作った悪文を提示し、何が足りないのか、どこを見直せばいいのかを考える。</p>	<p>○見直しがすんだら清書して、文章を仕上げさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き足し、書き直し <p>○ペアになり、おたがいの文章を見直す。</p>	
10	<p>○自分の下書きに、考え、事例をうつさせ、理由の部分を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き足し、書き直し <p>○ペアになり、おたがいの文章を見直す。</p>		
10	<p>三つのきまりを使って、きちんとつなげているかをたしかめると、考えが人に分かりやすくなったかわっているか、見直せる。</p>		<p>○交流でやりとりしたことや、もらったチェックシートを参考にして、下書きを見直すことができる。</p>
	<p>○見直した下書きをもとに、清書することをしらせ、次時につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードを書く。 	<p>○見直した下書きをもとに、清書することをしらせ、次時につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードを書かせる。 	



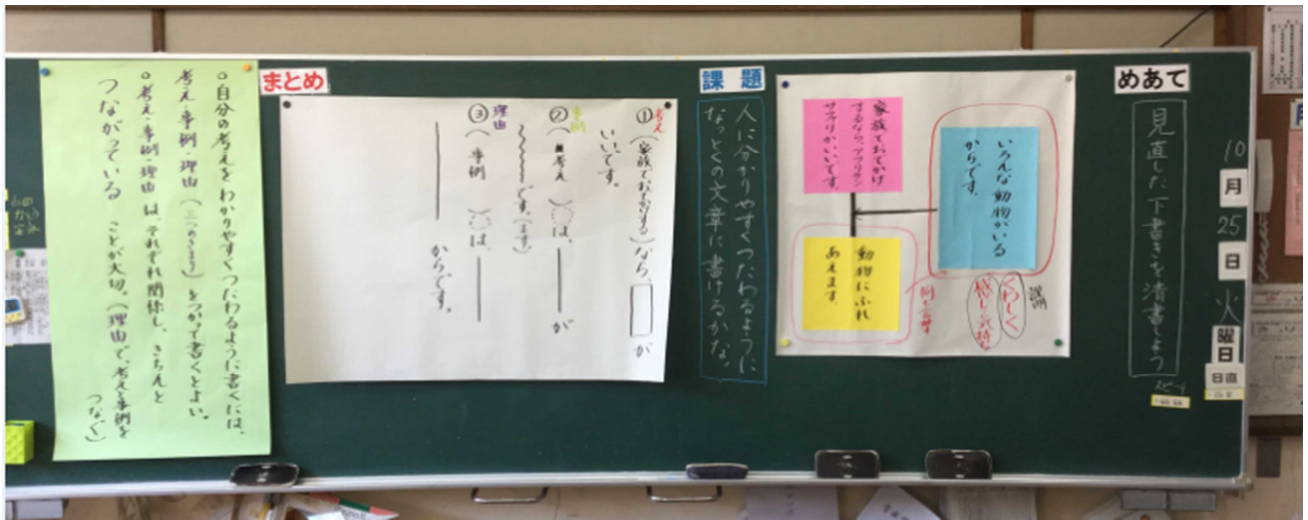
資料2-7 学習指導案 (第7時)

第4学年 国語科学習指導案 (第7時) 【清書】

- 1、題目 自分の考えがよくわかるように、考えて書こう
「自分の考えをつたえるには」
- 2、目標 見直した下書きをもとに、文のつなげ方に気をつけながら、清書することができる。
- 3、本時案 (7/8)

分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
5	見直した下書きを清書しよう。		
	○前時に下書きした文を、つなげて文章に清書することをつかむ。	○下書きした文章をつなげ、清書することを知らせる。	
	自分の文章は、人に分かりやすく伝わるよう納得の文章に書けたかな。		
15	○見直した下書きをもとに、清書をする。 ・考え、事例、理由の順に書いていく。 ・理由には、選んだ事例についてのくわしい説明や、自分の感想や思いを入れる。 ○考え、事例、理由の順に文章をつなげていく際、それぞれの文には主語・述語がきちんと入っているかをたしかめる。 ・事例では「(考え) には、～があります。」など ・理由には、「(あげた事例) では、～ができ、楽しいからです。」など	○見直した下書きをもとに、清書させる。 ・書く順番 ・事例と理由のちがいを ○文を文章化するとき、気をつけたいことに気づかせる。 ・主語、述語、文末表現	○三つのきまりがつながらるように、書くことができる。 ○主語・述語、文末表現などに気をつけて書くことができる。
10	○確かめたことを生かして、接続詞にも気をつけながら、清書する。	○接続する言葉に気をつけながら、丁寧に清書させる。	
	○自分の考えを分かりやすく伝わるように書くには、考え・事例・理由の三つのきまりをつかいて書くと分かりやすくなる。 ○考え・事例・理由はそれぞれ関係し、きちんとつながっていることが大切。(理由で、考えと事例をつなぐ)		
15	○学習のまとめをする。 ○今回の学習を振り返り、感想や、自分ができるようになったことをまとめる。 ・ふり返しカードを書く。	○学習のまとめをする。 ○今回の単元を通しての振り返りをさせ、学習を終える。 ・考えたこと、感じたこと ・できるようになったこと	○学習したことをまとめることができる。

資料 2-7-2 第7時板書



資料 3-7 ワークシート⑥ (清書)

<p style="text-align: center;">【今】この回のお話をきいて、今、自分たちにながらったと書いてください</p>	
<p style="text-align: center;">【次】</p>	<p style="text-align: center;">【めあて】</p> <p style="text-align: center;">10月25日 火曜日</p> <p style="text-align: center;">【課題】</p> <p style="text-align: center;">人に今かきやすくてわかるように、なるこの文章に書いてみる</p>

資料2-8 学習指導案 (第8時)


第4学年 国語科学習指導案 (第8時) 【まとめ・交流】

- 1、題目 自分の考えがよくわかるように、考えて書こう
「自分の考えをつたえるには」
- 2、目標 清書して書き上げた文章をクラスの友だちと読みあうことで、考え・事例・理由をあげた文章のよさや、人によって考え方に違いがあることを認め合うことができる。

3、本時案 (8/8)

分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
	清書して仕上げた文章を読み合おう		
5	○仕上げた清書を、クラス全体で読みあうことをつかむ。	○清書をクラス全体で読みあうことをしらせる。	
	考えがわかりやすかつたわるように気をつけたところがわかるかな。		
35	○グループになり、班ごとに回し読みしていく。 ○交流での二つの視点で、友だちの文章を読み合い、そのがんばりを認める。 ・三つのきまりは入っているか。 ・わかりやすく、きちんとつながっているか。 ・文章のいいなと思ったところ。 ○班で手分けをして、一人が①メッセージを入れ、読み合いをする。 (各班、4分×8班=32分)	○交流での二つの視点で、友だちの書いた文章を読み合わせる。友だちの文章の良さを感じさせる。 ○班で作品を分け、必ず一人が1メッセージになるように書きこませる。 ○メッセージを書いたら、他の人の文章も必ず読ませる。	○交流の二つの視点で、友だちの文章を読むことができる。 ○交流の視点で、友だちの文章の良さを感ずることができる。(評価メッセージが書ける。)
10	考え・事例・理由で、つながりに気をつけて書いていた。考えは人によってちがうことが、よくわかる。		
	○今日の学習を振り返り、感想や、自分ができるようになったことをまとめる。 ・振り返りカードを書く。	○今日の学習を振り返り、感想や、自分ができるようになったことをまとめ、学習を終える。 ・振り返りカードを書かせる。	

資料 3-8 まとめ読み合わせ用チェックシート

<p>例： ①三浦の昔のなつこちゃんを入れています。 ②昔のなつこちゃん、アハハハと笑っていました。 ③田中が、たのしみな顔で書いてくれました。 ④三浦の昔のなつこちゃん、アハハハと笑っていました。</p>	<p>メッセージ①</p> <p>よ</p>	<p>メッセージ②</p> <p>よ</p>	<p>メッセージ③</p> <p>よ</p>	<p>メッセージ④</p> <p>よ</p>
	<p>メッセージ⑤</p> <p>よ</p>	<p>メッセージ⑥</p> <p>よ</p>	<p>メッセージ⑦</p> <p>よ</p>	<p>メッセージ⑧</p> <p>よ</p>

書きが人にわかりやすくてつたわるように書いて書いていた友だちに、メッセージを入れよう。

資料 4-1 交流のルール

考えをたしかめあおう！ 交流のルール

A	B
※話し手は、自分の下書きを聞き手にわたす。 これから説明を始めます。	※聞き手は、相手の下書きを読み、じっくりと話を聞くん。
あなたし（ほく）は、・・・（考え、事例、理由を添けて説明する。） 相手がくり返すのを、読み手のつもりで聞いてみよう。	はい、どうぞ。 じっくり返します。 わたしは、～がいいです。～は～まず。～は～と思うからです。（相手が言ったとおりにくり返す）
はい、どうぞ。	はい、質問します。
◎事例は、「 」です。	◎事例はどれですか？
◎理由は、「 」です。	◎理由は、何ですか？
◎（事例）は（気持ち・感じ）と思います。	◎事例と考えがつながるように、理由にAさんの感情も入っていますか？
はい、そうです。	◎だから、〇〇がいい（考え）ののですか？
おめだずねします。	◎わかりました。
わたし（ほく）の考えは、わかりやすいですか？	◎「 」
Aさんは、書くのにまよったりこまったりしていることがあれば、Bさんに相談しましょう。Bさんは、どうすればわかり やすくつたわるかいっしょに考えて、アドバイスしてあげましょう。	
◎ありがとうございます！ （下書きを返してもらう） （チェックカードをもらう）	◎Aさんの考えは、 「 （かならずメッセージをつたえましょう。） ◎ありがとうございます！ （チェックカードを書いて、わたし）

たしかめあうこと

- 【1】三つをきまり【考え・事例・理由】があるか
- 【2】わかりやすく、きちんとつながっているか

＜友だちの考えへのメッセージを言うときの例＞

- ◎三つのおまりがちゃんと入っていました。
- ◎事例がわかりやすく、まねたいなと思いました。
- ◎理由が、なるほどなと思いました。
- ◎三つのおまりで、きちんとつながっていました。

交流のしかた

1. とわりどうしてペアになり、一度目を行う。

- ①A 話し手とB 聞き手の立場で話します。(3分)
→話し終わったら、チェックカード記入。(1分)
- ②立場を交代して同じように話します。(3分)
→話し終わったら、チェックカード記入。(1分)

2. ペア交代で、前後でペアになり、二度目を行う。

- ①A 話し手とB 聞き手の立場で話します。(3分)
→話し終わったら、チェックカード記入。(1分)
- ②立場を交代して同じように話します。(3分)
→話し終わったら、チェックカード記入。(1分)

交流でたしかめること

- (1) 三つのきまり(考え・事例・理由)はあるか。
- (2) わかりやすく、きちんとつながっているか。